

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) JFEロックファイバー株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
本票作成	部署名：製造部 技術室				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	ロックウール・同製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	JFEロックファイバー		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 △ 6.6 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	36,385 t CO ₂			39,000 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	JFEロックファイバー		36,385 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量154.4[千t]	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		237.036 t CO ₂ / (千t)	252.591 t CO ₂ / (千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

通常、ロックウールの原料は高炉の溶融スラグを用いている。溶融スラグ供給量不足のため、2018年度から冷スラグを溶融することによる原料化を開始した。このためエネルギー使用量、温室効果ガス排出量が増加した。更に2024年度までJFEスチール西日本製鉄所倉敷地区の高炉からの溶融スラグ供給量減少が見込まれており、対2019年度で2,800t-CO₂/年(原油換算950kℓ/年)増加を見込む。設備更新等によるエネルギー効率向上を実施し、冷スラグ増分を除くと原単位基準で0.5% CO₂排出量を削減する計画とする。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・毎月1回、社内収益改善会議にて電力原単位の計画に対する達成状況をフォロー
- ・半年毎に社内利益計画策定において電力原単位の計画を見直し

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
JFEロックファイバー	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 電気炉の炉内溶融スラグの管理水位を低減し、炉壁からの放散熱量を削減する(400t-CO2/年削減)。 ・平成31年度 電気炉のレンガを更新し、炉壁からの放散熱を削減する(140t-CO2/年削減)。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
JFEロックファイバー	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 電気炉内溶融スラグ攪拌のための窒素バブリング吹き込み量を低位管理し、電気炉湯面からの放散熱量を削減する(100t-CO2/年削減)。 ・令和3年度 工場内ヤード照明のLED化を推進し、照明電力を削減する。(100t-CO2/年削減)。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--